

## 教えることを通して、自分自身の行動を振り返り、情報モラル意識を高めていく事例 —スマホミーティング—

生活

高等学校 総合的な学習の時間

### 授業づくりのポイント

#### 【高等学校】

- スマートフォンやSNS等の経験を伝え、小学生への適切な利用を啓発するという目的意識をもたせる。
- スマートフォン等の利用について振り返り、生徒同士で情報化の「光と影」について話し合わせることで、利用の際の課題を明確にさせる。
- 小学生にスマートフォン等の「光と影」についてのプレゼンテーションや小学生とディスカッションを行うことで、改めて自分自身の利用の仕方について振り返り、適切に利用しようとする態度を養う。

#### 【小学校】

- 高校生からスマートフォンやSNS等の利用について、教えてもらったり、相談に乗ってもらったり、話し合ったりできることを伝え、事前に聞いてみたいことについて考えさせる。

### 単元について

#### 1 題材名 「スマホミーティング」

#### 2 目的

スマートフォンやSNS等の普及を受け、ネット上のいじめを含め、情報化の影の面へ対応することは、喫緊の課題である。日々新しい情報機器や便利なサービスが生み出される中、生徒自身が情報化の「光と影」をよく理解し、適切に利用することが必要である。

そこで、高校生が、小学生に教える場面を設定し、教えることを通して、改めて自分自身の行動を振り返り、情報モラル意識を高めていくことを目的として実施する。

#### 3 教材化の視点

スマートフォンやSNS等の利用から、児童・生徒がいじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれたり、学習への悪影響が発生したりしている。このような状況を改善するためには、利用する者が情報化の「光と影」をよく理解し、適切に利用するための知識や態度を身に付けることが必要である。スマートフォン等を既に利用している者やこれから利用する者が、これらの知識や態度を身に付けるためには、情報化に関わる問題を真摯に受け止め、主体的に解決していこうとする意識を向上させることが大切である。また、教わる側（小学生）から率直な発言を引き出すために、教える側（高校生）と教わる側（小学生）が、親近感をもちながら話し合うことが効果的であると考えた。

### 指導計画（5時間扱い）

時間	主な学習活動【高校生】	安全教育の視点に立った留意点
1 2	<b>【自分自身の経験を振り返ろう】</b> ○小学生に伝える内容を検討する。 ○小学生に伝えるためのプレゼンテーションを作成する。	◎正しい知識の必要性、個人情報を守ることの重要性、書き込みによるトラブル、正しく使うための対策について伝えられるようにする。
3 4 (本時)	<b>【小学生にスマートフォンの「光と影」を伝えよう】</b> ○高校生によりプレゼンテーションを行う。 ○安全クイズ（高校生が小学生に質問する）を行う。 ○グループディスカッション（高校生1名と小学生5・6名のグループによるディスカッション）を行う。	◎現在又は将来使用する際に、適切に使用するための知識を身に付けることの重要性を伝える。 ◎スマートフォン所持について、それぞれの小学生の保護者の方針を尊重する。

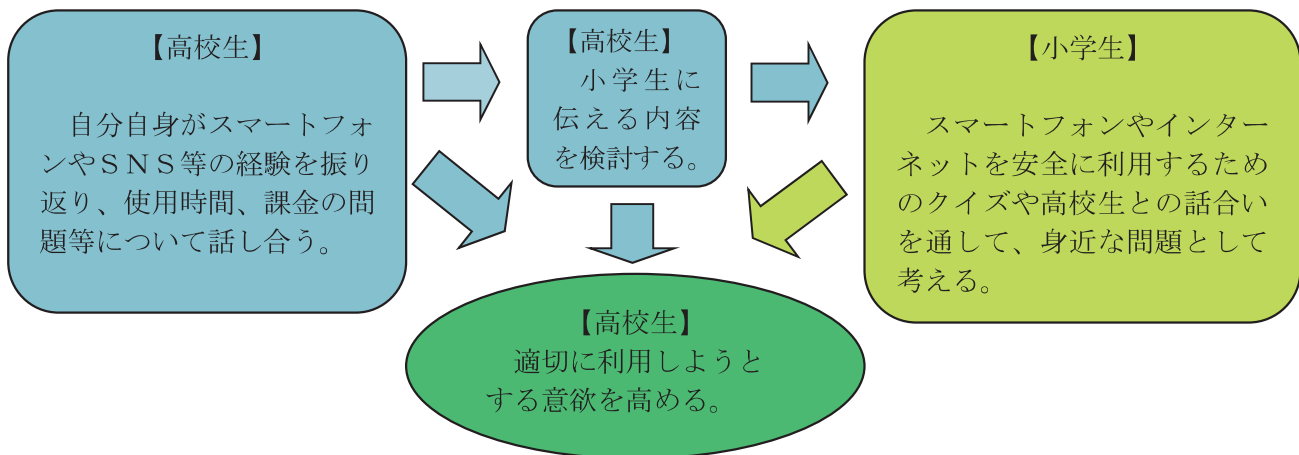
5	<p>【小学生にスマートフォン等の利用で伝えたことについて振り返ってみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学生とのディスカッションから、感じたことや考えたことについて話し合う。</li> <li>○自主ルールを作る。</li> </ul>	◎自分自身の情報モラルについて振り返ることができるようにする。
---	--	---------------------------------

**指導事例（第3・4時／5時間）**


**1 ねらい**

- ・小学生が現在又は将来スマートフォンを使用する際に、適切に使用するための知識を身に付けることの重要性について伝えることを通して、適切な利用のための課題をもたせる。  
【I-5-①～⑤】
- ・自分自身のスマートフォンやインターネットの利用の仕方について考え、適切に利用していくとする態度を養う。  
【I-5-①～⑤】

**2 ポイント**



**3 指導の実際（スマホミーティング）**

	○主な学習活動【高校生】	◎支援・留意点 ■評価（評価方法）
導入	○情報化のメリットとデメリットについてプレゼンテーションを行う。	◎スマートフォンやインターネット利用におけるメリットとデメリットについて、事例を踏まえながら説明する。
展開	<p>○安全クイズを行う（全児童参加）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審メールへの対応について 「知らない人から、『このメールを友達3人に送れば、きっといいことが起こるよ!』とメールが来ました。どうすればいいでしょう?」</li> <li>・なりすましメールについて 「『私は同じ中学3年生です。あなたの写真を見ました!今度〇〇で会いませんか?』というメールが届きました。どうすればいいでしょう?」</li> </ul> <p>○グループミーティングを行う（高校生1名と小学生5名から6名によるディスカッション）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン利用時のトラブルについて</li> <li>・スマートフォンの料金について</li> <li>・インターネットのメリットについて 等</li> </ul>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>◎自分自身の経験を踏まえ、トラブルに巻き込まれないための具体的な利用の仕方について話をする。</p>
まとめ	<p>○授業を終えての感想を伝え合う。</p> <p>○自分自身の情報モラルについて振り返る。</p>	■小学生への授業から、自分自身のスマートフォンやインターネットの利用の仕方を振り返り、適切な利用に触れて感想をまとめている。

## 4 スマホミーティング 生徒の感想（高等学校生徒のアンケートから抜粋）

### (1) 小学生の実態について

- ・小学生が、私の予想以上にスマホについての知識をもっていて、驚いた。
- ・担当グループ内ではスマホを持っている小学生はいなかったが、全員親のスマホを触ったことがあり、無料通話アプリについても詳しくかった。
- ・小学生に話を聞いたところ、パスワードをかけずにSNSアプリをしていたり、無料通話アプリの中で人を傷付けるような言葉遣いで会話していたりしていることが分かった。小学生の使い方に危なさを感じた。
- ・質問される内容は、高校生同士で話している内容と変わらなかった。
- ・一番興味をもったのは料金の話だった。身近な話題であるため、みんな意見を言ってくれた。
- ・ゲームの課金について、特に興味をもっていた。
- ・私自身の無料通話アプリのグループの数やグループに参加している人数について、特に興味をもったようだ。
- ・電子機器に触れている小学生がとても多かったが、大半は個人情報漏洩することの恐ろしさに気付いていないようだった。
- ・私の考えでは、高校生になっても色々難しいところがたくさんあるのに、小学生にスマホを持たせるのは早いと思った。持たせるにしても、フィルタリングが必要だと思った。



### (2) 話し合いにおける小学生の姿について

- ・小学生は、凄くいい反応をしてくれて、こちらも安心して話をする事ができた。
- ・自分が小学生のときと比べ、とても賢い返事が返ってきたため、正直なところ驚きを隠せない。
- ・話し合いの中で、難しい意見を出す児童がいて、応答に困惑した。

### (3) 自分自身が得た学びについて

- ・小学生から学ぶことがたくさんあった。改めて自分のスマホの使い方について考え直す良い機会になった。
- ・小学生が、自分では考えないようなことを話してくれ、逆に学ぶこともあった。
- ・教えるだけでなく、改めて自分も気を付けてスマホを使っていかなければならないと再認識した。
- ・小学生に教えるということが目的だったが、結果的には自分も多く教わることになった。
- ・改めてネットモラルについて考えるきっかけになったので、このようなボランティアがあったら是非またやりたいと思った。
- ・みんなにスマホの怖さやいいところについて話をする事で、自分も気を付けなければと思うことができた。
- ・自分のスマホの使い方について、自信をもって正しいとは言えない部分があるため、逆に私自身の使い方を小学生がどう感じるかを聞いてみた。これらの体験を通して、自分の使い方を反省することができたことがよかった。

### 生徒の変容

小学生とのディスカッション等から、小学生が自分たちと同じようにSNSを利用している実態を知るとともに、パスワードをかけずにSNSアプリを利用したり、無料通話アプリの中で人を傷付けるような言葉遣いで会話をしたりしているなどの危険性を認識することができた。そこから、生徒たちは教えるだけでなく、自分自身もスマートフォン等の利用について気を付けていかなければならないことを自覚したり、これまでの使用方法を振り返り反省したりなど、授業を通して改めてスマートフォン等の適切な利用や情報モラルについて気を付けていこうとしていた。